



【学校の教育目標】 志をもち 共に向上する

共に向上

令和6年4月8日
岐阜市立島中学校

『志をもち 共に向上する』

この言葉は、島中学校の教育目標です。『志』というのは、単なる「めあて」や「あこがれ」とは違い、「到達したいと強く願う目標」や「信念」といった意味をもっています。

中学生という時期は、「めあて」や「あこがれ」を『志』に変えていける時期です。子どもたちが、仲間との共同生活の中で、仲間のよさに学び、仲間と支え合いながら、自分で考え、判断して、行動できるような、自立した大人になっていけるよう、職員一同精一杯指導にあたります。保護者の皆様、地域の皆様には、ご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

校長 坂井 祐一郎

※個人情報保護の観点から、氏名を消去してあります。↓

《学校全体にかかわる職員》

校長	非常勤講師
教頭	
教頭	
教務主任	
いじめ対策監・生徒指導主事	ハートフルティーチャー
特別支援教育コーディネーター	ハートフルサポーター
通級指導	
不登校コーディネーター	学校司書
	スクールカウンセラー
教育相談担当（あすなろ教室）	
	スクール相談員
養護教諭	
事務職員	ほほえみ相談員
学校栄養	
学校校務	スクールサポートスタッフ (未定)

※各学年の職員については、学級通信・学年通信をご覧ください。

※何か心配なことや相談されたいことがございましたら、学校へご連絡ください。

☎ 058-232-4141

○令和5年度 第17回卒業式を行いました。

令和6年3月8日（金）に、令和5年度の卒業式を行いました。今年の卒業生は、新型コロナウイルス感染症の制限が少しずつ緩和され、様々な活動が再開できるようになってきた学年です。そうした環境での生活だったこともあり、学校行事や日常活動など、あらゆる活動の在り方を根本から考え、創造し続けた学校生活でした。

今回の卒業式も3年ぶりに卒業合唱を行い、素晴らしい歌声を会場に響き渡らせ、新しい島中学校の卒業式のスタイルを創り出しました。

そんな卒業生の代表として、佐々木さんが在校生に向けてメッセージを語りました。

「三年生になれば、最後の部活動の試合、演奏、最後の行事、授業、そして、進路に向けての日々が始まります。苦しい中ではありますが、仲間と共に希望をもち、突き進んでください。また、私たちが築き上げた島フェス、体育大会、校則。これらは変化し続けるかもしれませんが、今後の生活にあったより良いものにつくりあげていってください。変化とともにみなさんも移り変わっていってください。動き続けてください。全校生徒一人一人がさらに向上することができる島中学校になると信じています。」

自らの学校生活を自分たちの手で創り上げ、強くたくましく生活してきた3年生。この魂を引き継ぎ、様々な日常活動で仲間との強い絆をつくっていきましょう。



○共に向上する令和6年度の島中学校が始まります。

令和5年度には、学習活動や学校行事、日常活動で様々な新しい取組が施行されました。令和6年度は、それらを社会のニーズや学校の様子に合わせて再編していく年だと考えています。

○ 学習活動…協同学習の推進

生徒自らが課題設定、ICTを使った探究、交流と言った形で進める協同学習形態の実践を多く取り入れ、授業中に分からないことがあるときに、周りの仲間に聞いたり、ICT機器を使って調べたりするなど、自分なりの解決方法を身につけることができますようにします。

○ 日常活動…多様性の尊重

日常活動や学校行事において、「子どもの権利」「障がい」「いじめ」に関わる内容の活動を実践することで、周りの人のよさや考え、思いを知り、認め合うことで、多様性に対する多面的なものの見方や考え方ができるようになります。

○ コミュニティスクール…地域との繋がり

挨拶やボランティア活動に焦点を当て、生徒会活動を中心とした生徒による活動を推進します。「挨拶」は、毎朝の挨拶活動を実施しPTAの方々とのコラボ活動や「小中合同あいさつ運動」を実施することで、地域全体の挨拶の意識を高めます。「ボランティア活動」では、自治会の協力を得て活動の場を設け、人のために働くことのよさや喜びを感じることができる体験を仕組み、意識の向上を図ります。

